

# すべて自分で考えた登山計画の顛末は……？ ソロテント泊ビギナー、 南アルプス・鳳凰三山に挑戦

初めてのソロテント泊山行は、だれでも不安を感じるもの。そこでテント泊ビギナーに実際にソロテント泊山行してもらった。何事もなくうまくいくのか？ それともなにか手痛いミスをするのか？

文◎森山憲一 Text by Kenichi Moriyama  
写真◎加戸昭太郎 Photo by Shotaro Kato

## BEGINNER

ソロテント泊ビギナー  
町田秀宣

東京都内に勤めるシステムエンジニア。登山歴は10年だが、テント山行は1回しかしたことがない。これまでに登ったことがある主な山は、金峰山・瑞牆山・ハケ岳・蓼科山・乾徳山・雲取山など

お手柔らかにお願いします



## EXPERT

チェックする人  
森山憲一

登山ライター。元PEAKS副編集長。登山歴はすでに38年。これまで数限りなくソロ山行・テント山行をしてきた。今回自分用に持ってきたテントはネイチャーハイク。偶然にも町田さんとおそろい

きびしくチェックします



「ソロテント泊初心者自力でテント泊登山をしてみる」この企画、これまでも本誌で何度かやってきたが、今回はかなり実力派の登場である。

町田秀宣さん、40歳。登山歴はすでに10年ほどになり、ハケ岳や奥秩父、奥多摩などでの山行実績が豊富。登山に詳しい知人がいるそうで、沢登りの経験もあるという。ただし日帰り専門で、泊まりの山行は1回しかしたことがないとのこと。

なるほど……。ならば、少し手応えのある山を選んで問題なさそうだな。ということ、南アルプス鳳凰三山をチョイスした。南アルプス入門の山ではあるが、そこは南アルプス。標高は2800mを超えているし、時期は5月

中旬で残雪も少しある。鳳凰三山はコース選択のバリエーションもいくつもあり、どこを選ぶかについても迷うところ。

「——ということで、コースの選択はおまかせしますので、山行計画を立ててみてください」

町田さんにそう告げる。あとはこちらは一切口出しせず、町田プロデュースで登山を行なう。それがこの企画のルールなのだ。

「了解です！」

1週間後、町田さんから登山計画が送られてきた。計画を見る限りはほぼツツコミどころがない。さすが実力派である。日帰りとはいえ10年の登山経験があるので、勘所は押さえているようだ。

さて、まずはその計画をチェックすることから始めよう。

## CHECK

# 1 登山計画をチェック!

### 装備計画は問題ないか?

下の画像は装備表の一部。このほかにも、小物まで含めて持って行く全装備が書き出されていた。この「小物まで含めてすべて書き出す」というのが、忘れ物をなくすポイントで、それがわかっているのはさすが登山歴10年の実力派。内容も、1泊2日のテント泊山行として過不足のないもので、言うことなし。本人いわく、迷ったのがアイゼン。登山道に雪が少し残っているようだったので、念のためチェーンスパイクを追加したという。

カテゴリ	名称	備考
装備	登山靴	
	靴下	
	タイツ	
	ドライレイヤ	
	Tシャツ	
	フリース	
	ダウン	
	軽アイゼン	残雪状況次第でカット
	ヘッドランプ	
	帽子	
	ザック	58L
	アタックザック	20L
	着替えの下着等	
	腕時計	
食料	ウォーターキャリア	水1リットル
	ボトル	水0.5リットル

### 町田さんが作成した登山計画書

YAMAPで作成した行動予定表が貼り付けられていた。2日目は朝4時出発予定。長時間行動になるので、できるだけ早発する判断は正しい。町田さんはふだんからYAMAPを使用しているそう、計画立案にあたってYAMAPの山行記録を参考にしたという。YAMAPなどの登山サイトは山の直近の状況がわかるのがいいところだが、コースタイムなどはあまりあてにならない。「そこで山と高原地図なども参考にしました」。完璧。

時刻	内容	所要時間
09:30	夜叉神登山山口	75min
10:45	夜叉神	5min
10:50	夜叉神小屋	85min
12:15	杖立峠	13:15 60min
13:15	休憩60min	90min
14:45	毒平	15min
15:00	分岐	20min
15:20	南御室小屋テント場	20min

### 町田さんが考えたコース



### 天候の判断はできているか?

登山の全責任を自らが負うソロ登山では、天候判断ができるかどうか重要なポイントだ。ここに関してアドバイスは行なわず、町田さん自身で考えてもらった。とくに指示はしなかったのだが、1週間くらい前から天気アプリ (tenki.jp) でチ

ェックを始め、天気の流れをつかんでいたという。当日は降水確率30%くらいだったのがなんとなくだろうと判断。天候次第では、初日にがんばって観音岳まで登り、2日目は下るのみにするなど、現場で予定変更することも考えていた。

夜叉神峠から地蔵岳の往復コース。初日は南御室小屋テント場に泊まり、2日目は必要な荷物をテント場にデポして地蔵岳を往復し、その日のうちに下山するというもの。おだやかな稜線歩きだが、少々歩行距離が長い体力コースだ。一方、青木鉱泉から登り、鳳凰小屋に泊まって周遊するコースもポピュラーで、そちらのほうが歩行距離は短い、「ネットの記録を見ると残雪が多そうだったので避けた」とのこと。妥当な判断だと思う。